

1 教育委員会が推進する学校教育の概要

「伊佐らしい魅力ある教育、文化の創造」を基本方針として、生徒の教育環境を整え、きめ細やかな指導により「確かな学力」を身につけることはもちろん、様々な体験・集団活動を通じて生徒が互いに切磋琢磨しながら、思いやりや社会性などの「豊かな人間性」「健やかな体」を育てられるような学校教育を目指しております。

2 伊佐市の教育環境の現状と課題

(1) 生徒数の減少

全国的に過疎化、少子化により生徒数の減少が著しく、伊佐市も例外ではありません。

【表1】生徒数の推移

単位：人

区 分	H13	H23	H27	H47
大口中	365	239	251	182
山野中	110	75	67	33
大口南中	234	149	118	74
菱刈中	291	209	251	129
計	1,000	672	687	418

(2) 学級数の減少

【表2】学級数の推移（普通学級数）

単位：学級

区 分	H13	H23	H27	H47
大口中	10	7	8	6
山野中	3	3	3	3
大口南中	8	6	4	3
菱刈中	9	6	7	6
計	30	22	22	18

(3) 専科教諭の配置

学級数により教員数が決定します。

<例> 中学校全体で3学級の場合（1学年1学級）

↓
教員6人 → 10教科の授業を担当します。

不足の部門は専門教科以外の教諭が臨時的に教えます。

伊佐市の現状

- ・山野中学校は、平成23年度で配置教諭数6人に加配2人 計8人
教諭数が足りないため、音楽科は小学校教諭の兼務や技術家庭科は他教科担任が臨時免許を取得し補っています。
- ・大口南中学校は、平成23年度で配置教諭数11人に加配3人 計14人
平成27年ではクラス数が5クラス（うち特別支援学級1）となり、配置教諭数は8人に加配2～3人で10～11人になると予想されます。

(4) 部活動について

【表3】部活動の現況

学校名	大口中	山野中	大口南中	菱刈中
部活数	12	5	8	8

3 再編成の必要性について

教育委員会では、生徒が複数の専科教諭等が配置された大きな学校で学ぶことにより、今以上の学力の向上が図られると考えておりますが、中学校生活はそれだけではありません。

子どもたちは、中学校から高校、大学または社会に進んでいきます。その中でどうしても社会人としてたくさんの人々と連携していかなければなりません。

生徒間、生徒と教師間、それぞれにおいて多様な人間関係をはぐくみ、互いに理解を深め、切磋琢磨しながら社会性を養っていく、その基礎的なコミュニケーション能力を身に付けるのに中学校生活は非常に重要であります。たくさんの生徒同士のふれあいや生徒会活動・部活動、また多くの先生方とのふれあいによりそれは養われてまいります。

「豊かな人間性」「健やかな体」を育てるためにも各学年2学級以上の生徒数の中学校であるべきと認識し中学校再編成を行ってまいります。

※「伊佐市の生徒たちによりよい教育を受けさせる」という教育環境の維持向上を図る観点から、中学校再編成実施計画を策定いたしました。

4 中学校再編成実施計画について

伊佐市教育委員会では、伊佐市立中学校再編成実施計画（案）を平成22年1月に策定し、平成23年3月に「伊佐市立中学校再編成協議会」を設立いたしました。以降、9月まで8回の会議を重ね、意見を集約していただきました。

協議会の中で、委員全員が最も重視したのは「子どもたちのために中学校はどうあるべきか。」という視点であり、真剣な議論がなされ中学校再編成実施計画（案）に対する意見書が提出されました。

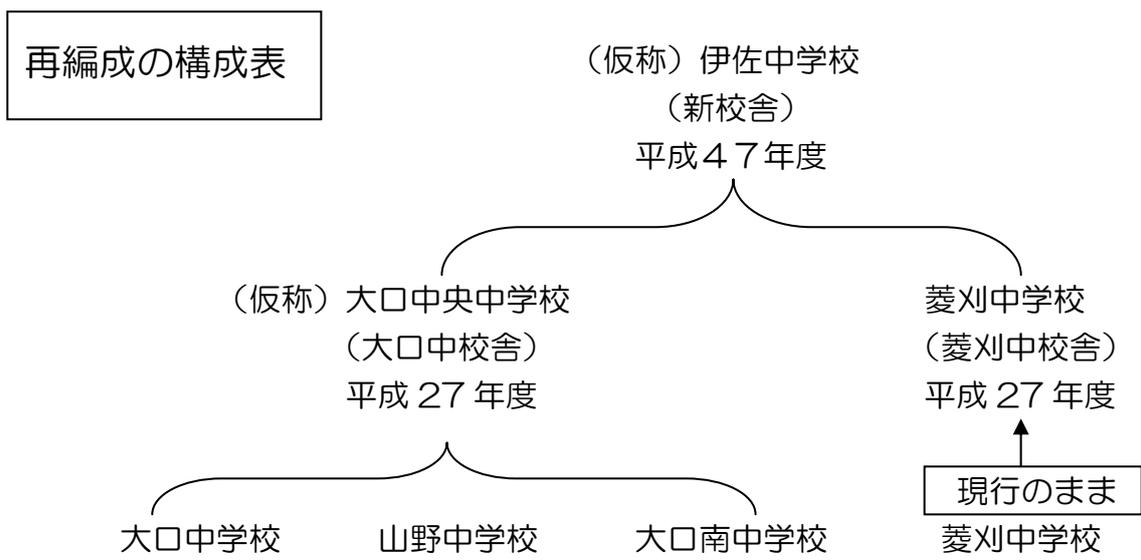
その意見書を受け、教育委員会では平成23年9月に中学校再編成実施計画（案）の変更を行い、9月29日「伊佐市立中学校再編成推進委員会」で市の施策として推進することを決定いたしました。

（1）基本方針

学校再編成についての基本方針は、「生徒にとってどうか」という視点を基本に据え、伊佐の生徒たちが「生きる力」を身に付け、互いに磨きあい将来郷土伊佐を誇りと思うことができるように再編成を実施し、「よりよい教育環境」を整えるものとする。

（2）再編成整備指針

- ① 中学校再編成については、第一次再編成・第二次再編成の二段階方式とする。第一次再編成は、学校規模について、各学年2学級の学級数を維持する。第二次再編成は、国が示している適正な学級数「12学級以上18学級」を目指す。
- ② 再編成により学校及び校区が変更になった地域で、通学距離等に著しい変更が生じた場合は、スクールバスで対応する。
- ③ 校舎・校地の跡地利用については、地域と連携を図りながら利活用を考えていくものとする。



(3) 再編成の構成について

第一次再編成 (仮称) 大口中央中学校・・現 大口中・山野中・大口南中
菱刈中学校・・現行のまま

第二次再編成 (仮称) 伊佐中学校・・(仮称) 大口中央中学校・菱刈中学校

(4) 再編成の時期について

第一次再編成 平成27年度

第二次再編成 平成47年度を目標とします。

※第二次再編成の時期については、生徒数の推移に応じ
て柔軟に対応します。

(5) 再編成の方法について

- ・第一次再編成では、大口中、山野中、大口南中を平成27年3月末で閉校し、平成27年4月に(仮称)大口中央中学校として新たに開校します。
菱刈中学校は現行のまま存続とします。
- ・第二次再編成では、(仮称)大口中央中学校と菱刈中学校を閉校し、新たに(仮称)伊佐中学校を開校します。

(6) 在校生について

- ・大口中、山野中、大口南中の生徒については、(仮称)大口中央中学校に一斉に再編成し、菱刈中については現行のとおりとします。

5 再編成後の生徒数等について

平成27年度再編成後の(仮称)大口中央中学校と菱刈中学校の生徒数・教員数の予測を表しております。

(1) 生徒数・学級数

【表4】(仮称)大口中央中学校

単位：人、学級

区分	1年	2年	3年	特別支援学級	合計
生徒数	141	144	144	7	436
学級数	4	4	4	2	14

【表5】菱刈中学校

単位：人、学級

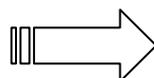
区分	1年	2年	3年	特別支援学級	合計
生徒数	72	80	88	11	251
学級数	2	2	3	2	9

(2) 教職員の配置数

【表6】(仮称)大口中央中学校

単位：人

校長	1
教頭	1
教諭等	21
養護教諭	1
事務職員	1
学校栄養職員	1



教諭等の基準値 21 人の内訳

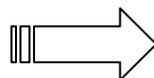
国語	3
社会	2
数学	3
理科	2
英語	3
音楽	1
美術	1
保健	2
技術	1
家庭	1
特別支援	2

(計 21 人)

【表7】菱刈中学校

単位：人

校長	1
教頭	1
教諭等	14
養護教諭	1
事務職員	1
学校栄養職員	1



教諭等の基準値 14 人の内訳

国語	1
社会	1
数学	2
理科	2
英語	2
音楽	1
美術	1
保健	1
技術	0
家庭	1
特別支援	2

(計 14 人)

6 再編成準備委員会の設置について

新しい学校づくりに向けては、教育課程や通学手段・校歌・校章・制服などこれから決めていかなければならないことがたくさんあります。

そのために、平成24年度において「伊佐市立中学校再編成準備委員会」を設置する予定です。

準備委員会は、総務部会・教務部会・生徒指導部会・保健体育部会・庶務部会・図書部会及びPTA部会の7つの部会で構成し、それぞれの事項について調査・検討いたします。

なお、準備委員会では平成23年9月に中学校再編成協議会から出された要望書や市民の皆様からの要望を反映させるために具体的事項について検討協議し決定してまいります。

7 再編成までのスケジュール

年 度	内 容	説 明
H23	市民説明会	実施計画の説明
H24	再編成準備委員会	学校像を創り上げる（校章、校訓、校歌、学校行事、生徒心得、校則、通学路、PTA、部活動等）
H25～H26	再編成準備期間	交流学习等で生徒の不安解消に努めます。
H27年3月末	第一次再編成	大口中学校・山野中学校・大口南中学校を閉校
H27年4月		（仮称）大口中央中学校の開校
H47年（予定）	第二次再編成	（仮称）大口中央中学校と菱刈中学校を閉校し、新たに（仮称）伊佐中学校を開校